

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
ブ19	番付（江戸） * 基太平記白石噺	資料			国立文楽劇場上演資料集	<19>	①昭和63年7月 ④国立劇場 ③安永9年1月江戸外記座。財団法人三井文庫蔵番付の影印、翻刻
ブ19	絵尽（江戸） * 基太平記白石噺	資料	義太夫年表近世 篇索引刊行会＝ 編		義太夫年表 近世篇	別巻 <索引篇>	①平成2年11月 ④八木書店 ③三井文庫蔵。他に天理図書館、東京都立中央図書館に 所蔵。浦部幹資「浄瑠璃絵尽所在目録」に拠る
	黄表紙（絵尽） * 基太平記白石噺	資料			新編日本古典文学全集	77 浄瑠璃集	①平成14年10月 ④小学館 ③三井文庫蔵
ブ19	番付（大坂） * 基太平記白石噺	資料			国立文楽劇場上演資料集	<19>	①昭和63年7月 ④国立劇場 ③天明1年春豊竹此吉座。竹内道敬氏蔵番付の影印、翻 刻
ブ19	絵尽（大坂） * 基太平記白石噺	資料	義太夫年表近世 篇索引刊行会＝ 編		義太夫年表 近世篇	別巻 <索引篇>	①平成2年11月 ④八木書店 ③天明1年春豊竹此吉座。東京大学総合図書館蔵。他に 早稲田大学演劇博物館、辻町文庫（千葉胤男）所蔵。浦 部幹資「浄瑠璃絵尽所在目録」に拠る
	* 基太平記白石噺	資料	八文字屋而笑		浄留利/操評判闇の磔		①天明1年9月 ④天明1年春豊竹此吉座所演。『浄瑠璃評判記集成 中』（昭和35年7月・演劇研究会＝編）、『日本庶民文 化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書 房・藝能史研究会＝編）に翻刻あり
	絵尽 * 基太平記白石噺	資料			早稲田大学演劇博物館所蔵 特別資料目録	4 芝居番付 近世篇(4)	①平成6年4月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③安永9年以降、地域不明 ③安永10年春、堀江市ノ側
	* 紋大夫（三世竹本） * 八重大夫（二世豊竹）	評判 記			義太夫執心録		③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50 年10月・三一書房・藝能史研究会＝編）等に所収
	人形芝居	芸談	西川伊三郎		演芸世界	第18号	①明治35年8月 ④演芸世界社 ③団七と宮城野の人形の怪談
	大入場	参考	おに		演芸世界	第21号	①明治35年11月 ④演芸世界社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	附録 語方の実例 碁太平記白石噺 揚屋の段	演出	岡鬼太郎	〃	義太夫秘訣		①明治36年3月 ④服部書店 ③明治39年6月富田文陽堂より第2版、大正10年9月野村青雲堂より第4版発行
					岡鬼太郎花柳文芸名作選	9義太夫秘訣	①昭和55年10月 ④鳳書院 ③明治36年3月服部書店版の復刻
			近世文芸研究叢 書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講 釈』を収録
	人形と芝居	劇評	智恵内		演芸世界	第31号	①明治36年9月 ④演芸世界社 ③明治36年8月東京歌舞伎座所演（短評）
	白石噺 新吉原の段	注釈	蓼沼祐太郎・山 沢簡＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
	碁太平記白石噺 * 田植の段に就いて * 新吉原の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
533	堀江座見物（五月興行）	劇評	中村商海子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第49号	①明治39年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治39年5月堀江座所演
	堀江座見物素人評	劇評	中村商海子・中 村柳雨子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第67号	①明治41年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治41年4月堀江座所演
	呉竹集	劇評	伊藤春調		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第86号	①明治43年6月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治43年5月堀江座所演（短評）
	碁太平記白石噺	考証	三田村鳶魚		日本及日本人	明治43年10月 15日号 (544号)	①明治43年10月 ④政教社
					芝居と史実		①明治44年1月 ④政教社
	宮城野信夫				芝居ばなし	第1編	①天正15年12月 ④歌舞伎出版部
	碁太平記白石噺				三田村鳶魚全集	第18巻	①昭和51年5月 ④中央公論社
	碁太平記白石噺（吉原揚屋の 場）	解説 梗概	劇道研究会＝編		古/今名劇二百種	第1集	①明治44年6月 ④金港堂書籍

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松座第三回興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第104号	①明治45年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③明治45年4月近松座所演
533	近松座の浄瑠璃	劇評	香川蓬洲		演芸画報	第6年 第6号	①明治45年6月 ④演芸画報社 ③明治45年4月近松座所演
	第二種 基太平記白石噺 * 田植の段	梗概 批評	徳島県教育会		義太夫調査書		①大正2年4月 ④徳島県教育会 ③大正2年7月増補訂正再版
	第三種 基太平記白石噺 * 新吉原場屋の段						
	戯曲と事蹟 * 孝の徳（宮城野、しのぶの事）	随筆	大井劇癡		演芸画報	第8年 第8号	①大正3年8月 ④演芸画報社
	浅草の操り芝居（吉田冠十郎一座と吉田国五郎一座）	劇評	小沢愛罔		演芸画報	第8年 第10号	①大正3年10月 ④演芸画報社 ③大正3年7月カ東京浅草花屋敷（吉田冠十郎一座）所演
	白石噺の実録	実説	高瀬羽阜		伝説/研究歴史之謎		①大正3年9月 ④東亜堂書房
	近松座の身振り劇	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第152号	①大正5年2月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年2月近松座所演（身振り芝居）
	文楽座の仕舞興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第161号	①大正5年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正5年11月御霊文楽座所演
	竹豊座二の替り	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第165号	①大正6年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正6年3月竹豊座所演
	浄瑠璃と操り芝居 第十一章 江戸に於ける義太夫節 * 江戸作者 * 江戸作正本の異色――例として『糸桜本町育』『神霊矢口渡』『白石噺』の一節	研究	秋山木芳（清）		義太夫大鑑	上巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇23 浄瑠璃3		①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	棧敷から書齋へ	解説	伊原青々園		演芸画報	第5年 第4号	①大正7年4月 ④演芸倶楽部
	棧敷から書齋へ * 二十二 白石噺				棧敷から書齋へ		①大正13年7月 ④玄文社
533	六月の文楽座	劇評	緑々生		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第179号	①大正7年7月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正7年6月御霊文楽座所演
	遊女の恋―「白石噺」の宮城野と「廓文章」の夕霧と―	随想	緑川春作		桜草・恋愛小品		①大正8年5月 ④新潮社
	竹本津太夫紋下披露興行の文楽座を聴く	劇評	船場の白紫		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第231号	①大正13年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③大正13年5月御霊文楽座所演
	第一部 評論雑話 * 文楽二題 その二、新しい文楽座	劇評	三宅周太郎		演劇評話		①昭和3年3月 ④新潮社 ③大正13年5月御霊文楽座所演。初出＝「大阪毎日新聞」（大正13年6月）
	白石噺	物語	木村三樹＝編纂		剛毅優婉孝貞美談		①大正15年1月 ④帝国講学会
65	基太平記白石噺 七ツ目切 新吉原揚屋の段	演出	杉山其日庵		浄瑠璃素人講釈		①大正15年11月 ④黒白発行所 ③昭和50年3月鳳出版より復刻版
			近世文芸研究叢書刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期 芸能篇25 浄瑠璃5		①平成9年8月 ④クレス出版 ③岡鬼太郎『義太夫秘訣』、杉山其日庵『浄瑠璃素人講
533			杉山其日庵＝著 ／内山美樹子・桜井弘＝編		浄瑠璃素人講釈	(下)	①平成16年11月 ④岩波書店 ③岩波文庫。注釈・解題・解説・人名索引付載
	文楽座の十月興行論評	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第264号	①昭和2年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和2年10月弁天座所演
	十月の文楽座	劇評	怠仏		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第274号	①昭和3年10月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和3年10月弁天座所演
	文楽新聞評抜粋 三、昭和四年七月 * その第三回	劇評	三宅周太郎		文楽之研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③昭和4年7月東京新橋演舞場所演（一言）

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽物語及び文楽人形物語 文楽物語 近事篇（その一） *「大序」の人々	芸話	三宅周太郎		文楽之研究 ----- 改修文楽の研究 ----- 新編文楽の研究 ----- 定本文楽の研究 ----- 文楽の研究		①昭和5年6月 ④春陽堂 ③大序の語り場 ----- ①昭和15年3月 ④創元社 ③創元選書40 ----- ①昭和22年11月改訂初版 ④創元社 ----- ①昭和27年5月 ④創元社 ③創元文庫 ----- ①昭和29年9月 ④角川書店 ③角川文庫929 ----- ①平成17年8月 ④岩波書店 ③岩波文庫。解題（児玉竜一）・解説（今尾哲也）付載
	白石噺宮城野信夫のことども	考証	富田広重		東北の秘史逸話	第1輯	①昭和5年11月 ④史譚研究会
533	文楽座の師走興行	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第298号	①昭和6年1月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和5年12月四ツ橋文楽座所演
	社撰を極むる太夫の場割	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第19輯	①昭和6年1月 ④演芸月刊社 ③昭和5年12月四ツ橋文楽座所演
	土佐太夫邸に大序会を聴く	劇評	小西い京		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第300号	①昭和6年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和6年1月28日竹本土佐太夫邸所演（短評）
	陽春四月絢爛の文楽座	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第332号	①昭和9年5月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和9年4月四ツ橋文楽座所演（短評）

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第一編 芸の生涯 三、文楽座時代 * 逆井村に柿の木	芸談	木谷正之助（蓬吟）		五世竹本弥太夫 芸の六十年		①昭和9年10月 ④私家版 ③「逆井村」
	第二編 人物と芸格 一、弥太夫の人と芸と 一〇、揚屋の惣六と来たら	随筆		長谷川貞信			③（5）竹本弥太夫の惣六
	一八、初役『信夫』の頃	芸談		(4) 片岡我童 (12) 片岡仁左衛門			③「信夫」について
	一、三人笑ひ			(3) 竹本津太夫			③（5）竹本弥太夫の「逆井村」
	九、驚き入った『つらだましひ』			(7) 野沢吉兵衛			③「逆井村」
	一〇、耳に残る逆井村			(6) 鶴沢友次郎			③「逆井村」
	三、謙譲の人			森下蟻洞			③「逆井村」
	歌舞伎と女性の仇討	随筆	大村嘉代子		劇場	第1巻 11月号	①昭和11年10月 ④劇場社
	新義座公演	劇評			浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第372号	①昭和13年8月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和13年7月京都朝日会館所演（一言）
	三、彦六座時代 * 彦六座の人気	芸談	鴻池幸武＝編	(1) 吉田栄三	吉田栄三自伝		①昭和13年11月 ④相模書房 ③昭和23年5月武智鐵二の序等を加え和敬書店より再版。明治17年3月彦六座の評判
	五、稲荷座時代 * 小浪のクドキ						③（2）豊松清十郎に教わったおのぶの型
	七、文楽座へ * 老け役						③明治32年10月御霊文楽座について
	文楽座霜月興行合評記	劇評	鴻池幸武・武智鐵二・森下辰之助・樋口吾笑		浪花/名物 浄瑠璃雑誌 鴻池幸武文案批評集成	第384号	①昭和14年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和14年11月四ツ橋文楽座所演（短評）
	南部、伊達と宮城野おのぶ	劇評	カハマス		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第384号	①昭和14年11月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③昭和14年11月四ツ橋文楽座所演

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	寂寥に悩む文楽一失敗は古鞠 の『揚屋』一	劇評	山口廣一		随想/劇評大阪の芝居		①昭和17年12月 ④輝文館 ③昭和16年6月四ツ橋文楽座所演（短評）。初出＝「大 阪毎日新聞」（昭和16年6月18日）
	異色を見せた南北座	劇評	小谷青楓		演芸画報	第35年 第11号	①昭和16年11月 ④演芸画報社 ③昭和16年10月東京国民新劇場（南北座）所演（一言）
	鶴沢叶・聞書 *越路さんの謙讓	芸談	茶谷半次郎	(4) 鶴沢叶 (2) 鶴沢清 八)	聞書 芸と文学		①昭和17年6月 ④全国書房 ③『文芸春秋』昭和7～8年及び『週刊朝日』昭和9年掲 載分をまとめたもの。(3) 竹本越路太夫の宗六
	*五代目豊澤廣助さん				文楽聞書		③「吉原の段」
	鶴沢叶・聞書 *越路さんの謙讓 *五代目豊澤廣助さん						①昭和21年5月 ④全国書房
	文楽生活四十年 *白石噺と二十四孝	芸談	(6) 竹本住太 夫		文楽浄瑠璃物語		①昭和18年2月 ④正文館書店 ③(6) 竹本住太夫文楽生活年表付載。「逆井村」
			(9) 竹本文字 大夫 (7) 竹 本住太夫)・佐 藤靄子	六代竹本住大夫		①昭和57年7月 ④青蛙房 ③『文楽浄瑠璃物語』を収録、(6) 竹本住大夫舞台年 譜（佐藤靄子＝編）付載	
352	人形小割帳 文楽五月狂言より一浅草雷門 のだん・吉原揚屋のだん	資料	(2) 吉田玉市		浄瑠璃雑誌	第420号	①昭和18年6月 ④浄瑠璃雑誌社 ③昭和18年5月四ツ橋文楽座所演
	芸談 文楽鑑賞 (十八) 『白 石噺揚屋』	芸談	山口廣一	(1) 鶴沢道八	演芸画報	第37年 第7号	①昭和18年7月 ④演芸画報社
65、352、 533	七段目『新吉原揚屋』				文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版。『演芸画報』掲載 のものに加筆収録
	基太平記白石噺（宮城野、信 夫二女の仇討）	考証	坂本箕山		戯曲と史実		①昭和18年8月 ④日比谷出版社
				芝居と史実		①昭和22年1月 ④東照堂	

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	四代目住太夫さんのこと	芸談	鴻池幸武	(1) 鶴沢道八	道八芸談		①昭和19年1月 ④私家版 ③武智鐵二の注解を付載して昭和62年11月ペリかん社より復刊、日本芸術名著選4。平成28年11月ぶんがく社よりペリかん社版を復刻（花もよ叢書009、文庫版）。 (4) 竹本住太夫の特に良かった演目
	碁太平記白石噺	解説	山口廣一		文楽の鑑賞		①昭和19年1月 ④畝傍書房 ③昭和25年4月雪月花書房より再版
65、352、 533	七段目『新吉原揚屋』	芸談		(1) 鶴沢道八			③『演芸画報』第37年第7号（昭和18年7月・演芸画報社）掲載のものに加筆収録
	人形の足と足遣ひに就て	解説					③お信の人形
65	江戸の浄瑠璃作者	研究	園田民雄		浄瑠璃作者の研究		①昭和19年2月 ④東京堂 ③『浄瑠璃作品要説』〈7〉江戸作者篇（平成5年3月・日本芸術文化新興会）に抄録
	芝居の中の女性 I 純情可憐な娘たち 「鮎屋」のお里・其他	鑑賞	高岡宣之		歌舞伎の女性		①昭和24年1月 ④新府書房 ③信夫
	歌舞伎百趣 44碁太平記白石噺	解説	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店
	烏亭駕馬	解説	山口剛		増補/改訂日本文学大辞典	第1巻	①昭和25年2月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	紀上太郎	解説	守隨憲治		増補/改訂日本文学大辞典	第2巻	①昭和25年5月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	碁太平記白石噺	解説 梗概	近藤忠義		増補/改訂日本文学大辞典	第3巻	①昭和25年8月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	『金閣寺』と『白石噺』	解説	本山菽舟		演劇界	第9巻 第6号	①昭和26年6月 ④演劇新社

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽人形用語（四） * 後ぶり	演出	大西重孝／三村 幸一＝撮影		舞台展望	新年号 （通巻第7号）	①昭和27年1月 ④舞台すがた社 ③しのぶ・宮城野の後ぶり
	3 人形の基本的な型 * 後ぶり		大西重孝		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③大西重孝・吉永孝雄＝解説、三村幸一＝写真、文楽座＝編。『舞台展望』第7号から抜粋
	2 人形の基本 人形の型（演技） * 後ろぶり				文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	数えられる薈	劇評	沼艸雨		舞台展望	4月号 （通巻第10号）	①昭和27年4月 ④舞台すがた社 ③昭和27年3月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽弥生興行評	劇評	吉永孝雄		幕間	第7巻 第4号	①昭和27年4月 ④幕間和敬書店 ③昭和27年3月四ツ橋文楽座所演（短評）
	文楽一夕話 * 初役の「城木屋」	芸談		(8) 竹本綱太 夫			③「揚屋」段切、「くつわの宗六生粹の」の節ナマリについて
	伊達の穴うめ競べ	劇評	北岸佑吉		演劇評論	第2巻 第4号	①昭和29年4月 ④演劇評論社 ③昭和29年3月三越劇場所演
	あがく文楽	劇評	吉永孝雄		幕間	第9巻 第10号	①昭和29年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和29年9月四ツ橋文楽座所演（一言）
ブ19、352	* 江戸浄瑠璃と紀上太郎	研究	森修		嘉栗研究		①昭和30年9月 ④私家版 ③三井高陽＝編集。平成2年2月塙書房『近松と浄瑠璃』に所収
					近松と浄瑠璃		①平成2年2月 ④塙書房
	* 白石噺と其作者嘉栗 * 嘉栗と上方狂歌に就て * 嘉栗居士の人となりと志賀の仇討に就て * 白石噺の浄瑠璃の前に * 糸桜本朝育、碁太平記白石噺の興行年代と錦絵 * 「嘉栗研究」のはじめに * 嘉栗の一身について * 嘉栗著 狂歌関係刊本解題	研究	三井高大 高安六郎 小野圭史		嘉栗研究		①昭和30年9月 ④私家版 ③三井高陽＝編集
			木村豊三郎 浅井勇助				
			三井高陽				③附録「三井嘉栗略年譜」（小野圭史・三井高陽＝共編）・「追善会記事」

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	2 名作の舞台 * 碁太平記白石噺	解説 写真	大西重孝・吉永 孝雄＝著／三村 幸一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	3 人形の基本的な型 * 後ぶり	演出	大西重孝				③『舞台展望』（通巻第7号・昭和27年1月・舞台すがた社）掲載文より抜粋
	紀上太郎 碁太平記白石噺	解説 解説 梗概	角田一郎 林京平		演劇百科大事典 総合日本戯曲事典	第2巻	①昭和35年6月 ④平凡社 ①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	盲兵助と名残りの橋尽し	劇評	吉永孝雄		幕間	第15巻 第10号	①昭和35年10月 ④幕間和敬書店 ③昭和35年8月道頓堀文楽座所演（短評）
	立川焉馬（烏亭焉馬）	解説	山本二郎		演劇百科大事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
	容楊黛	解説	園田民雄		演劇百科大事典	第5巻	①昭和36年9月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
	こんど出る頭	解説	安藤鶴夫		東京三越劇場プログラム		①昭和37年7月 ④中西敬二郎＝編集発行 ③どじょうのカシラについて
	写実的な風俗描写－「碁太平 記白石噺」－		戸部銀作				
	仇討もの （三九）宮城野・信夫の実説	考証	荒川秀俊		江戸の実話 「実事譚」の 世界		①昭和40年5月 ④桃源社 ③桃源選書
					江戸の実話 〈実事譚の世界〉	1	①昭和51年5月 ④桃源社 ③桃源社新書
	時代物の世界『安達三』	劇評	内山美樹子		演劇界	第24巻 第3号	①昭和41年2月 ④演劇出版社 ③昭和41年1月東京三越劇場所演（短評）
					文楽 二十世紀後期の輝 き－劇評と文楽考－		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	義太夫国紳士録 * 六世竹本弥大夫師一大酒豪	芸談	(8) 竹本綱大 夫		芸談かたつむり		①昭和41年4月 ④布井書房 ③「逆井村」

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	碁太平記白石噺	解説	戸板康二		名作歌舞伎全集	第7巻 丸本世話物集	①昭和44年3月 ④東京創元新社
	烏亭焉馬年譜（未定稿） （一）	研究	延広真治		獨協大学教養諸学研究	第3号	①昭和44年3月 ④獨協大学学術研究会
	関西の劇場 文楽の回生策	劇評	北岸佑吉		演劇界	第27巻 第9号	①昭和44年8月 ④演劇出版社 ③昭和44年7月朝日座所演
	烏亭焉馬年譜（未定稿） （二）	研究	延広真治		名古屋大学教養部紀要（人 文学・社会科学）	第14輯	①昭和45年2月 ④名古屋大学教養部
	無類の表現力、越路 風格あ る津大夫 演目の決定に問題	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝 き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和46年5月東京国立劇場小劇場所演。初出＝「読売 新聞」昭和46年6月2日
	『金閣寺』そのほか	劇評	内山美樹子		演劇界	第29巻 第7号	①昭和46年7月 ④演劇出版社 ③昭和46年5月東京国立劇場小劇場所演
					文楽 二十世紀後期の輝 き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
	碁太平記白石噺の研究—演劇 の基盤の実話—	研究	安田喜代門		武蔵野女子大学紀要	8号	①昭和48年3月 ④武蔵野女子大学文化学会
	宮城野・信夫の仇討	解説 考証	藤井武夫		奥州白石ばなし ふるさと 散歩覚え書		①昭和48年7月 ④三彩書房
	烏亭焉馬年譜（未定稿） （三）	研究	延広真治		名古屋大学教養部紀要（人 文学・社会科学）	第18輯	①昭和49年3月 ④名古屋大学教養部
	文楽と初代栄三 * 文楽の場合	参考	大西重孝		文楽人形の演出		①昭和49年8月 ④大西重孝著作刊行会 ③宮里・宮柴のカシラ
	碁太平記白石噺	解説	大鋸時生・三村 幸一		文楽—鑑賞のために—		①昭和50年10月 ④保育社 ③カラーブックス338
	碁太平記白石噺 新吉原揚屋の段	解説 床本			義太夫名曲選—抜粋—	第1集	①昭和50年 ④キングレコード ③レコード付録解説・床本。演奏は（8）竹本綱大夫＝ （10）竹沢弥七
	四つの名曲の聞きどころ	解説	三宅周太郎				③「壺坂霊験記 沢市内の段」「碁太平記白石噺 新吉 原揚屋の段」「伽羅先代萩 政岡忠義の段」「卅三間堂 棟由來 木やり音頭」について

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽名作鑑賞 碁太平記白石噺	解説 梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	天明・寛政期の烏亭焉馬	研究	延広真治		井浦芳信博士／華甲記念論 文集 芸能と文学		①昭和52年12月 ④笠間書院 ③「烏亭焉馬年譜（四）」に該当
	碁太平記白石噺 新吉原揚屋の段	解説 床本	林喜代弘＝監 修・解説		義太夫名曲選聚		①昭和55年 ④東芝EMI ③レコード付録解説・床本。演奏は豊竹松太夫（3） 竹本春子太夫）＝（4）鶴沢清六
	烏亭焉馬年譜（未定稿）	研究	延広真治		人文科学科紀要	第71輯	①昭和55年3月
533	烏亭焉馬寸描	解説	横山正		朝日座プログラム		①昭和56年10月 ④文楽協会
	烏亭焉馬年譜（未定稿） （六）	研究	延広真治		人文科学科紀要	第74輯	①昭和57年3月 ④學術圖書印刷 ③東京大學教養學部國文學研究室・漢文學研究室＝編
	烏亭焉馬	解説	延広真治		日本古典文学大辞典	第1巻	①昭和58年10月 ④岩波書店
プ19 533	紀上太郎 碁太平記白石噺	解説 解説 梗概	角田一郎 林京平		日本古典文学大辞典	第2巻	①昭和59年1月 ④岩波書店
	師匠春秋 *芸はタダ	芸談	高木浩志	(4) 竹本越路 大夫	四代竹本越路大夫		①昭和59年3月 ④淡交社 ③「雷門の段」を大序形式に
	容楊黛	解説	井口洋		日本古典文学大辞典	第6巻	①昭和60年2月 ④岩波書店
	「碁太平記白石噺」の上演形 態について－黄表紙を資料に して－	研究	神楽岡幼子		百千鳥国文	第7号	①昭和62年10月 ④大阪女子大学大学院国語学国文学専攻院生の会
	「碁太平記白石噺」の上演形 態について				歌舞伎文化の享受と展開－ 観客と劇場の内外－		①平成14年7月 ④八木書店
	江戸浄瑠璃の一作者 “無の心”になって弾きたい ...	解説 芸談	鳥越文蔵 川崎一朗	(8) 竹沢団六 (7) 鶴沢寛 治)	国立文楽劇場文楽公演解説 書	第25回	①昭和63年7月 ④国立劇場
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治				

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	累の因果・女の悲劇	劇評	権藤芳一		演劇界	第46巻 第9号	①昭和63年8月 ④演劇出版社 ③昭和63年7月国立文楽劇場所演
	兵庫口説の研究	研究	磯貝みほ子		群馬女子短期大学紀要	第16号	①平成1年11月 ④群馬女子短期大学 ③浄瑠璃上演の宣伝のために作られ、世上に流布されたと思われる兵庫口説の例
	「岡崎団七踊」の由来について	研究	中野喜代子		信愛紀要	第32号	①平成4年3月 ④和歌山信愛女子短期大学学術研究会
	『奥州仙台女敵討』について	研究	成田守		東洋研究	第104号	①平成4年9月
	碁太平記白石噺	解説 梗概	吉永孝雄		浄瑠璃作品要説	<7>江戸作者篇	①平成5年3月 ④日本芸術文化振興会 ③園田民雄「江戸の浄瑠璃作者」（『浄瑠璃作者の研究』）抄録、安田絹枝・井上勝志「江戸浄瑠璃参考文献年表」収載
352	「碁太平記白石噺」レコード 目録	資料			国立劇場上演資料集	352	①平成6年9月 ④日本芸術文化振興会
	揚屋が聴きもの見もの	劇評	津田類		演劇界	第52巻 第11号	①平成6年10月 ④演劇出版社 ③平成6年9月東京国立劇場小劇場所演
	文楽評、仮名手本忠臣蔵ほか 一平成六年九月～七年二月一	劇評	水口一夫		歌舞伎 研究と批評	15	①平成7年6月 ④歌舞伎学会 ③平成6年9月東京国立劇場小劇場所演
	第三部 名作の鑑賞 世話物 碁太平記白石噺	解説	藤田洋・森西真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版
	『碁太平記白石噺』について	研究	成田守		大東文化大学紀要<人文科学>	第34号	①平成8年3月 ④大東文化大学 ③合巻本『碁太平記白石噺』の解説と翻刻
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治		国立文楽劇場文楽公演解説書	第68回	①平成9年11月 ④日本芸術文化振興会
	『国性爺』三段目に量感	劇評	田結荘哲治		演劇界	第55巻 第15号	①平成9年12月 ④演劇出版社 ③平成9年11月国立文楽劇場所演（短評）
	錦祥女がみごとな表現力	劇評	宮辻政夫		上方芸能	129号	①平成10年6月 ④『上方芸能』編集部 ③平成9年11月国立文楽劇場所演
	江戸の人形浄瑠璃界	研究	瀧田裕介		岩波講座 歌舞伎・文楽	第9巻 黄金時代の浄瑠璃とその後	①平成10年3月 ④岩波書店

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	岡崎の団七踊一衣装についで一	研究	中野喜代子		信愛紀要	第40号	①平成12年3月 ④和歌山信愛女子短期大学学術研究会
	【講演】「娘仇討ち白石口説」と「団七踊り」一芸能の伝播と生命力一	研究	茶谷十六		日本歌謡研究	第40号	①平成12年12月 ④日本歌謡学会
	三、文楽合同 *しのぶ *追いつきたい	芸談	桐竹紋壽		文楽・女方ひとすじ おつるから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③しのぶの代役
	碁太平記白石噺	解説	大橋正叔		新編日本古典文学全集	77 浄瑠璃集	①平成14年10月 ④小学館
	潜在的にテキストに基づいているオーラル・コンポジション一ある琵琶弾きの証言より一	研究	ヒュー・デフェランティ		日文研叢書	26 日本の語り物一口頭性・構造・意義一	①平成14年10月 ④国際日本文化研究センター ③国際日本文化研究センター共同研究報告。座頭琵琶『志賀団七』と『碁太平記白石噺』の比較
	世話物 碁太平記白石噺	解説	高木秀樹＝著／ 青木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版刊
	名作文楽50 碁太平記白石噺				文楽手帖		①平成26年8月 ④KADOKAWA ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文楽50』を加筆修正のうえ再構成したもの
	* 宇治常悦 2 * 金井谷五郎 * 楠原普伝 * 志賀台七 * 信夫 * 女衞の観九郎 * 大黒屋惣六 * 豆蔵どじょう * 宮城野 * 与茂作	解説	淵田裕介		歌舞伎登場人物事典		①平成18年5月 ④白水社 ③河竹登志夫＝監修、古井戸秀夫＝編。平成22年普及版
	人間国宝 芸を語る * 吉田文雀	芸談	高木浩志＝聞き手	吉田文雀	内子座文楽公演プログラム	第12回	①平成20年8月 ④内子座文楽公演実行委員会・内子町、内子町教育委員会 ③おのぶ・宮城野について
	鑑賞の手引き * 碁太平記白石噺	鑑賞	高木浩志				
	文楽人形の衣裳一傾城と田舎娘一	演出	清水久美子		国立劇場文楽公演解説書	第171回	①平成22年5月 ④日本芸術文化振興会 ③宮城野の衣裳

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	おみつ哀しや野崎村	劇評	津田類		演劇界	第68巻 第7号	①平成22年7月 ④演劇出版社 ③平成22年5月東京国立劇場小劇場所演
	文楽・知識の泉31（まる付）	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第122回	①平成23年4月 ④日本芸術文化振興会
	源大夫、藤蔵の名跡復活	劇評	亀岡典子		演劇界	第69巻 第6号	①平成23年6月 ④演劇出版社 ③平成23年4月国立文楽劇場所演（短評）
	新たな一歩を刻む	劇評	森田美芽・片山 剛		上方芸能	181号	①平成23年9月 ④『上方芸能』編集部 ③平成23年4月国立文楽劇場所演
	資料紹介 斎藤清二郎画「文 らく小道具」	資料	水田佳穂		歌舞伎 研究と批評	51	①平成26年3月 ④歌舞伎学会 ③特集〈歌舞伎と近代美術〉。早稲田大学演劇博物館が 購入した斎藤清二郎画「文らく小道具」資料の紹介。 「田植の段」の蛇
	『碁太平記白石噺』について 枝芸員にきく *豊竹英大夫	解説 芸談	日下和寿 西村彰朗＝聞き 手	(3)豊竹英大 夫 (6)豊竹 呂太夫)	国立文楽劇場文楽公演解説 書	第140回	①平成27年10月 ④日本芸術文化振興会
	『玉藻前』の物語を堪能	劇評	亀岡典子		演劇界	第74巻 第1号	①平成27年12月（平成28年1月号） ④演劇出版社 ③平成27年10・11月国立文楽劇場所演
	復元途中の作品をどう扱うか	劇評	福本のりこ		上方芸能	199号	①平成28年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成27年10・11月国立文楽劇場所演（短評）
	碁太平記白石噺の背景	解説	佐谷眞木人		国立文楽劇場文楽公演解説 書	第161回	①令和3年1月 ④日本芸術文化振興会
	清治の「道行」	劇評	宮辻政夫		演劇界	第79巻 第3号	①令和3年2月（3月号） ④演劇出版社 ③令和3年1月国立文楽劇場所演
	『碁太平記白石噺』第六「浅 草の段」の異本二種（解題と 翻刻）	研究	久堀裕朗		文学史研究	61巻	①令和3年3月 ④大阪市立大学国語国文学研究室